

促成栽培

我が家にイチゴが届きました。“すず”“ほしうらら”“恋みのり”聞いたことのない品種です。“恋みのり”を口に頬張ると、あの頃実らなかった恋が脳裏に浮かんできました。甘酸っぱい。これらは、ビニールハウスで温度や湿度を管理した促成栽培で収穫された逸品です。促成とは「手を加えて早く生長させること」とあります。即ち、管理することで通常の露地栽培より成長・収穫・出荷までの期間を短くする栽培方法です。短期間とはいえ、大変甘くさわやかな香りが口の中に広がりました。昨今では、



温度や湿度の管理だけでなく、光合成に必要な光までコントロールをする仕組みを確立するなど進化は目覚ましいようです。コンピューターを使って栽培条件を管理する農場も多くなり、安定した品質と収穫が得られるため、原則、生産に失敗はありません。

本校でも生徒が促成栽培によって成長したチューリップが玄関先に飾られています。これだけ美しい姿に仕上がっても、予定よりも早く開花し管理が上手いかなかったというのですから驚きです。卒業式あたりに開花させる予定であったとのこと。



本校でも生徒が促成栽培によって成長したチューリップが玄関先に飾られています。これだけ美しい姿に仕上がっても、予定よりも早く開花し管理が上手いかなかったというのですから驚きです。卒業式あたりに開花させる予定であったとのこと。



20日(金)に新入生体験授業を実施しました。清瀬中学校で花を開かせようとする児童の皆さんです。生徒会による学校説明からスタート。発表に力を入れる清瀬中です。

- ①清中の一日の流れ
- ②清中の行事
- ③清中の部活動・委員会
についてプレゼンテーションソフトを

用いて簡潔で分かり易く説明しておりました。その後、1クラス30名程度に分かれて、国語・社会・数学・音楽・保健体育・技術の授業を体験しました。

20日～25日(水)まで3日間の連休をまたいで学年末考査が行われました。26日(木)には、2年生の教室まわると既にテスト返却が行われています。促成採点です。驚きました。新入生も、中学校生活でにおいて、『定期考査』を経験します。小学校生活とは異なる中学校での生活のひとつですね。



2月21日は都立高校の入試が行われました。私自身、中学校入学後、あっという間に高校入試になってしまったと記憶しています。過行く年月が何とも早かった。学習がおろそかになっていたの、部活を引退した3年生の夏に慌てました。新聞の折り込みや書店にて、様々な塾や学習教材の宣伝が目にとまるようになりました。“すぐ身に付く数学”“英語最短マスター”“まだ間に合う超効率学習法”“超速歴史マスター”などなど、心揺らぐキャッチコピーばかりで、どれにしようか迷い…。お年玉をはたいて睡眠学習機なるものに手を出した仲間は「寝ながらなんてちっとも記憶されてない」と怒る始末。もちろん実際に効果のある教材も存在するのですが、学問に促成栽培はなさそうです。「あっという間に過ぎてしまっ」とならぬよう、今から少しずつ!

ウソクセー 学習法に 采配 を振るうより、
問題集を何度も解くなどコツコツと積み上げることが学力向上への近道であります。
もちろん、恋のみのりも促成とはいきませぬ。